

学校統合推進課だより

平成27年9月11日

(南部・西部地区版) No.5

発行：教育委員会学校統合推進課

【南部・西部地区中学校の統合に向けた取組の状況をお知らせします】

目黒区教育委員会では、子どもたちが豊かな人間関係を築きながら、お互いに切磋琢磨していくことができ、学校行事や部活動などの集団活動の活性化が図られるなどの教育環境を整備するため、区立中学校の適正規模・適正配置の取り組みを進めています。

第七・第八・第九・第十一中学校の統合に向けた取組状況については、平成25年7月の第1号から随時お知らせしてきたところです。この間、学校施設の耐力度調査の実施や長寿命化などの検討を優先して進めてきたため、昨年11月の第4号からしばらく間があきました。本号では、あらためて現在の取組の状況や今後の予定などをお知らせします。

【現在までの取り組み状況】

○ 検討会の開催状況等

平成25年5月に、教育委員会事務局、対象の中学校長、その校区内の小学校長の代表で構成する「南部・西部地区の区立中学校の適正配置に向けた検討会」を設置し、25年度に5回、26年度に3回、27年度は6月に第9回目を開催しました。

今後の具体的な検討に向けて必要となる、基礎データ（各学校の位置、地域の特性、生徒数、施設の状況など）の作成、統合にあたっての課題（学校の位置、通学距離、教育環境の整備における課題など）の整理をしています。

○ 耐力度調査について

区立中学校の適正配置の判断材料のひとつとするため、26年度に第七・第八・第九・第十一中学校の建物の老朽化の状況を確認しました。文部科学省の基準に基づく耐力度調査として実施しましたが、この基準が28年度に向けて改定されることが明らかになり、現在、調査結果は参考資料として活用しています。

○ 今後について

目黒区実施計画（平成27年度～31年度）に基づき、今年度中を目途に南部・西部地区の中学校の望ましい適正配置に向けた実施策をまとめていく予定です。一定の整理ができた段階で説明会を開催し、皆さんと課題の共有化を図ったうえで、様々なご意見、ご要望を伺っていきたいと考えています。

なお、地域の一部に噂や不安があるようですが、現時点では、方向性以外に具体的に決まっていることはありません。

今後の日程や進捗状況などについては、学校統合推進課だよりや区ホームページであらためてお知らせしていきます。

- 南部・西部地区中学校の統合に関してのご質問等がございましたら、学校統合推進課までご連絡ください。 【問い合わせ先】 学校統合推進課 電話 5722-9301
メール kyoiku05@city.meguro.tokyo.jp